

第 98 回大腸癌研究会学術集会 大腸癌化学療法委員会 議事録 (東京)

2023/01/26 (木) 11 時 30 分～12 時 00 分 ハイブリッド開催

○参加者 (委員のみ記載、以下敬称略) : 事務局より提供された出席者名簿、入室記録より作成
現地参加 : 山崎健太郎 石川敏昭 植竹宏之 沖英次 掛地吉弘 佐竹悠良

篠崎英司 高島淳生 森脇俊和 他

WEB 参加 : 谷口浩也 寺石文則 馬場英司

○欠席 : 石黒めぐみ 濱口哲弥 吉野孝之 上野秀樹 杉本直俊

<検討内容>

1. 研究進捗報告 (資料 1 スライド 1 枚目参照) 現行 4 研究の進捗のまとめ

1.1 レゴラフェニブおよび TAS-102 以外の標準治療薬に不応/不耐となった治癒切除不能大腸がんに対するレゴラフェニブ単独療法と TAS-102 単独療法を比較する多施設共同観察研究 (REGOTAS) : 森脇

→主解析論文化済、付随研究を 7 つ実施し 5 研究は論文化済、2 研究は 1 月中に共著者レビュー予定

1.2 実臨床における治癒切除不能進行再発結腸直腸癌に対する初回治療としての FOLFOXIRI/FOLFOXIRI+Bevacizumab 療法の効果と安全性を評価する多施設共同観察研究 (TRIPON) : 森脇

→主解析論文は 1 月中に共著者レビュー予定、主解析論文 publish 後に付随研究を募集予定

1.3 RAS 遺伝子野生型の治癒切除不能進行・再発大腸癌に対する、一次治療での抗 VEGF 抗体薬または抗 EGFR 抗体薬併用療法の有効性を腫瘍占拠部位別に比較する観察研究

→主解析論文化済、付随研究 3 件応募あり (1. PANI vs. CET、2. 高齢者、3. 原発巣の病理組織学的特徴と予後、薬物療法の有効性に関する検討) : 高島

1.4 高齢者 Stage III 大腸癌に対する術後補助化学療法の現状調査 (多施設共同観察研究) (MOEST) : 石川

→研究実施中、予定症例数 3,500 例、参加施設 88 施設、データ収集期間 2023 年 7 月 31 日、データ収集と並行してデータクリーニングを実施する

2. 準備中の研究 (資料 1 スライド 2-3 枚目参照)

2.1 切除不能進行・再発大腸癌における希少なサブタイプの診療実態と治療成績を評価する多施設共同観察研究 : 山崎

→PRT、ICF 作成済、中央 IRB を用いるため研究代表者を谷口浩也先生 (愛知がん) に変更

→今後、化学療法委員レビュー→倫理委員会へ提出→IRB 審査予定

3. 新規研究提案

3.1 C-CAT データを用いた大腸癌遺伝子異常の疫学検討 : 篠崎

→先行研究として、がん研有明単独での研究を計画中。化学療法委員会で研究を立案し、大

腸癌研究会（アカデミア）として C-CAT データ利活用申請を行ってもよいか大腸癌研究会事務局に確認する。